

本のむし

揭示版

2019年4月26日発行

編集 図書委員会 広報班

皆さんこんにちは！図書委員広報班です。
今回は、昨年後期に発行できなかったぶんの
揭示版「本のむし」を発行します。
今年も引き続き、先生への読書インタビューや
おすすめ本の情報をお届けするので楽しみに…

春は新しいことを始めたくなる季節です。
すてきな本と一緒に、新しい自分に
出会ってみてはいかがでしょうか？



中学生のおすすめ本

『小説 言の葉の庭』

作者 新海 誠 913/シ(文庫)

靴職人は目指す高校生の秋月孝雄は雨の日に学校の一隈目をさぼり、庭園で靴のデザインを考えていた。ある日、昼間からビールを飲んでた女性ユキノに出会う。孝雄はユキノを知っていた気がしたが…作者は「君の名は。」の新海誠。恋をしたことない人にオススメです。



『あと少し、もう少し』

作者 瀬尾まいこ 913/セ(文庫)

中学最後の駅伝大会に向けてメンバー選考練習を始めるが…寄せ集めの6人は、県大会出場を目指してたすきをつなぐ。中高生におすすめの青春小説。



『ふたご』

作者 藤崎彩織 913/フ

SEKAI NO OWARIメンバーのSAORIが書いた小説で、バンドが出来るまでの話が、モデルになったとも言われています！セカオワ好きでもそうでない人も、彼らの曲がまた少し違った印象で聞こえるようになるでしょう。



高校生のおすすめ本

『リバース』

作者 湊かなえ 913/ミ

平凡なサラリーマンの主人公が、唯一落ち着けるコーヒー豆専門店である女性と出会い付き合うこととなりますが、その矢先にある事件がおこってしまいます。真相を探るべく主人公は…？とても読みやすく、ドラマ化もされました。



『レインツリーの国』

作者 有川浩 913/ア

ある小説をきっかけに、オンラインでやりとりをするようになった男女の恋と秘密の物語です。同作家の「図書館内乱」にも登場する本で、ストーリーも内容と深く関わってきます。「図書館戦争」シリーズが好きな人にとってもオススメです！



『掟上今日子の色見本』

作者 西尾維新 913/ニ

「物語シリーズ」などでも有名な作家の別シリーズで、眠ると記憶がリセットされる忘却探偵が主人公、という変わったミステリー小説です。ミステリーとしての質も高く読みやすいので、本をあまり読まない人にもオススメです！



横山一郎先生

私の推薦図書は『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』（著・村上春樹）です。この小説では2つのストーリーが並行して展開され、最後に繋がっていくところが面白いです。



また、様々なキャラクターも魅力的です。私は村上春樹さんのファンですが、世代的に彼と青春時代が被るところがあるので、親近感が持てますね。

中高生の時は北杜夫さんの本をよく読みました。私にとって思春期そのものだったと言えます。

中高生には、ライトノベルなど読みやすいものだけでなく、古典も読んでほしいと思います。“古典”といったって大昔の本だけを指しているわけではないです。皆さんにとっては、昭和時代の本も十分古典と呼ぶにふさわしいでしょう。昭和がどういった時代だったのかを知るために、少し古い本を読んでみるのも良いと思います。

先生の オススメ本

鈴木純先生

僕のオススメ本は『沈まぬ太陽』（著・山崎豊子）です。

実際にあった日航ジャンボ機墜落事故をモデルに、巨大企業の裏側やその中であがく主人公を描いた、壮大なシリーズです。



『徳川家康』（著・山岡荘八）は全26巻の長大な作品です。家康の“戦い”の歴史ではなく、天下の主としてどのように部下をまとめていったかを描いているので、僕にとっても参考になり、大切にしています。

1冊で完結するものでは『秘密』（著・東野圭吾）がオススメです。交通事故をきっかけに、娘と母親の魂が入れ替わってしまう、面白い物語です。

実は僕は中高生のころはあまり本を読んでいなくて、大人になってから小説を読むようになりました。映像でみるのは簡単ですが、本は時間と労力を読むからこそ、得られるものが多いです。本を読むのが苦手な人は、自分の好きな分野から入っていくのが良いでしょう。

清水直哉先生

オススメ本は『十角館の殺人』（著・綾辻行人）です。孤島に閉じ込められて、そこで殺人が起きる…というよくある内容ですが、この作者は最後のどんでん返しが売りで、「最後の一行を読んでいない人のほうが幸せ（＝これから読む楽しみが味わえる）」とまで言われています。



小説以外では『どんとこい、貧困！』（著・湯浅誠）がオススメです。今から十年くらい前の本ですが、当時は一生懸命働いても仕事が無くなってしまおう人が増えていて、それに疑問を持ち手に取りました。“貧困”はけして自己責任などではなく、一人一人の人間がもっと社会に大切にされるべきだ、ということが書いてあります。

中高生のときは少年マンガが大好きでした。他には子ども向けの岩波ジュニア新書などを読んでいました。本を読むと、自分の知らない新しい世界に触れることができ、色々なことを考えられるようになります。今は読みやすい本がたくさん出ていますから、難しいものでなくても、ぜひ色々な本を手にとってほしいですね。

委員のおすすめDVD

『ホームアローン』

監督 クリス・コロンバス(1990 アメリカ)

家族のミスで、クリスマスの家にたった一人で置き去りにされてしまった8歳のケビン。うるさい両親や兄弟がいなくなり自由を満喫していたが、そこに2人組の泥棒がやってきて…はたしてケビンは泥棒から家を守ることができるのか！？



委員のおすすめCD

サカナクション『魚図鑑』

最近のヒット「新宝島」から、定番の「アイデンティティ」「バッハの旋律を夜に聴いたせい」まで、名曲大集合のベストアルバム！独特のサカナワールドに病みつきになること間違いなし

